

きしわだ自然資料館の紹介

岸和田市立の自然史系博物館で、地域の自然の豊かさを知り、自然を楽しみ、環境保全への理解を深めるための拠点として1995年6月に開館しました（図1）。常設展示では、岸和田市在住だった故郷原文吉氏から寄贈を受けた約300点にもおよぶ野生動物の剥製標本コレクション（図2）をはじめ、岸和田周辺の自然環境を山地、丘陵地、ため池、平地、海域といった環境別に、標本やジオラマ、映像などを用いて紹介しています。また、1階のオープンスペースでは南大阪の生き物を生体展示しており、その一角にあるのが「大阪湾とその近海にすむウミウシ類」コーナーです（図3）。あまり知られていませんが、大阪湾は300種をこえる多種多様なウミウシ類が生息する豊かな海で、ここでは大阪湾およびその近海で見られる種を20種程度、常設で飼育しています。季節ごとに出現種が異なるウミウシ類を展示するのは容易ではありませんが、自然観察グループの一つである「大阪湾ウミウシ観察会」の協力も得て、身近な海にすむウミウシ類の魅力を日々発信しています。

もう一つ、当館発祥の取り組みとして紹介したいのは「チリメンモンスター実習」です。「チリメンモンスター（略称：チリモン）」は、ちりめんじゃこの中に混じる小さなタコやイカ、カニの幼生などの混獲生物の総称で、これらの生物をちりめんじゃこの中からより分け、形態を観察する過程を「チリメンモンスターさがし」あるいは「チリメンモンスター実習」と呼んでいます（図4）。

様々な見た目をした海洋生物（多くは幼生期のものが見つかります、図5）を探し出す作業は宝さがしのような感覚で取り組むことができ、年齢を問わず人気のワークショップとなっています。2004年に始まったこの取り組みは昨年で二十歳の節目の年を迎え、いまや全国的な知名度を誇る人気イベントにまで成長しました。

常設展示はもちろんのこと、特別展や企画展、チリメンモンスター実習をはじめとしたワークショップも定期的に開催していますので、大阪に来られる機会があれば、ぜひお立ち寄りください。 [柏尾]

○概要

所在地	〒596-0072 大阪府岸和田市堺町6-5
電話	072-423-8100
FAX	072-423-8101
Webサイト	https://www.city.kishiwada.lg.jp/site/shizenshi/
入館料	高校生以上200円（特別展期間中は400円） 中学生以下無料
開館時間	10:00～17:00（入場は16:00まで）
休館日	毎週月曜日（祝日は開館）・土日祝を除く毎月末日（12月は28日）・土日祝を除く祝日の翌日・年末年始（12月29日～1月3日）・敬老の日の前日と前々日（祭礼期間）
アクセス	南海本線「岸和田駅」から徒歩12分



図1 自然資料館の外観



図2 3階にある剥製（郷原コレクション）



図3 ウミウシ類の生体展示コーナー



図4 チリメンモンスター実習



図5 チリメンモンスターとして見つかる生きもの